

令和5年 新年のごあいさつ

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

今年も明和町は、昨年に引き続き「オールインワンのまちづくり」を進めてまいります。まず、災害時避難施設として、今春着工予定のホテル温泉複合施設、川俣駅、明和メディカルセンタービル、それぞれをペデストリアンデッキ（高架歩道）で結ぶ避難場所が完成してまいります。

また、明和セントラル病院の東に、人間ドックと町の特定健診ができる健康診断センターが民間資金で建設されます。これにより、病院の混雑が緩和されます。

そして、昨年、株式会社アドバンテスト様より大佐貫の寮跡地（宅地 2,538 m²、雑種地 4,342 m²、計 6,880 m²）にパークゴルフ（グランドゴルフ兼用）場などを整備するため多額の寄付がありました。今年は、その寄付金を利用して整備に取り組んでまいります。

また、下江黒の土地（宅地 806 m²、山林 430 m²、雑種地 3,937 m²、計 5,173 m²）も明和町土地開発公社が取得いたしました。長年、放置され荒れ果て周囲に迷惑をかけておりましたが、今年はその整備にも取り組んでまいります。



【アドバンテスト寮跡地】



【駐車場】

そして、国道122号バイパス西には4月にコストコ明和倉庫店がオープン予定です。駐車場は1100台のスペースがあり、今まで町に無かったガソリンスタンドも併設されます。コストコのガソリンは1ℓあたり市場よりも10円前後安く入るそうです。町では、物価高騰対策として町民の皆様が利用できますように、1世帯当たり1枚のコストコ会員権の補助を考えております。皆様もぜひご利用ください。

明和町にたくさんの方が来ていただける夢の様な施設ですので、町として、この流れを将来の財産としていきます。



【コストコ ガソリンスタンド（イメージ）】

【川俣駅南踏切拡張へ】

かねてから町民からの要望が多かった川俣駅南の踏切の幅員も、現在の倍の広さに拡張する工事を予定しております(これは県事業です)。

【社会体育館・中学校体育館へ空調導入】

近年の気候変動により、暑い夏・寒い冬が際立っております。特に夏の暑さは殺人的と言われております。避難施設として利用する体育館には、冷暖房が必要ですので完備していきます。来年には東西小学校を予定しております。

【諸証明のコンビニ交付を導入】

DX(デジタルトランスフォーメーション)の一環として、諸証明のコンビニ交付ができるよう今秋頃の導入を目指しております。これにより町民の皆様の利便性が益々向上いたします。



他にも、町民の皆様が安全で且つ利便性に優れた生活が送れるよう、様々な事業が予定されています。町民の皆様からのご意見を参考にしながら全力で取り組んでまいります。

今年は卯年です。12支十干で言えば、癸卯(みずのと・う)です。

「十干」とは、甲(きのえ)、乙(きのと)、丙(ひのえ)、丁(ひのと)、戊(つちのえ)、己(つちのと)、庚(かのえ)、辛(かのと)、壬(みずのえ)、癸(みずのと)の総称で、もとは1から10までのものを数えるための言葉です。

癸(みずのと)は物事の終わりと始まりを意味するほか、「揆(はかる)」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯」は、もともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われています。この2つの組み合わせである癸卯(みずのと・う)には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているそうです。

ここ数年、コロナ禍で人々の活動は停滞しましたが、そんな中からもイノベーションが生まれ、成長しようとしています。また、コロナは未だ収まっていないとはいえ、人も経済も動き出しました。2023年は、これ

までの努力が花開き、実り始める新時代になることを期待しております。

結びに、本年が皆様にとりまして、そして本町にとりましても素晴らしい飛躍の1年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和 5 年 1 月吉日

明和町長 富塚もとすけ